

交通／専門科目

ナンバリング	科目名		サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
112BT01	交通概論 A		交通とは何か、基礎と歴史を学ぶ	遠藤 俊太郎	1年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	交通と経済・社会、交通と人間、交通と技術・情報、交通と環境			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける				
事前に受講するとよい科目		特になし				
オフィスアワー		授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法		教員の短大メールアドレス				
講義の目的	本講義では、これから本格的に交通を学ぶうえで必要となる基礎的な知識を習得する。具体的には、「交通とは何か」という大きなテーマの下、交通の歴史や、現代の経済・社会、日常生活にどのように交通に関わり、貢献しているか、交通が世の中でどのような役割を果たしているかといった視点からその概要を学ぶ。交通に関する現状・課題を認識し、自らその解決策を考えるといった、交通を担う当事者としての意識を持つことも本講義の目的である。					
到達目標	交通を専門的に学ぶうえで基礎的な知識を身につける。					
講義内容	私たちの生活にとって身近で、欠くことのできない「交通」について概括的に把握・理解するため、交通とは何か、交通にはどのような歴史があり、現代の社会・経済・日常生活の中でどのような役割を果たしているのか、具体的な事例を挙げて紹介・説明する。この講義では、交通・運輸について専門的に学ぶための基礎的な知識を学んでいく。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	交通とは何か、交通を学ぶうえで必要なこと			
	第2講	交通サービス	交通とサービス、交通輸送サービスの特徴			
	第3講	交通のデータ	交通を表す単位（人キロ、トンキロ他）、交通の基礎データ			
	第4講	交通市場の理論と価格	一般的な市場と交通市場、運賃・料金の決まり方			
	第5講	人間の生活と交通	衣食住と交通、交通の起源と前近代の交通			
	第6講	交通の近代化	近代以降の交通体系の形成と交通機関			
	第7講	交通と地域・文化	交通の影響を受ける地域構造と社会・文化			
	第8講	交通と医療・福祉	交通と医療・福祉の関係、交通の役割			
	第9講	交通と技術	交通を支える技術の進化			
	第10講	交通と通信	交通と通信の関係、情報技術と交通			
	第11講	交通分野の担い手と働き方	交通産業の働き方、労働法、ワークライフバランス			
	第12講	交通の安全（1）	安全はなぜ重要か、安全を守るための仕組み			
	第13講	交通の安全（2）	道路交通の安全性、交通戦争・交通安全			
	第14講	交通心理学と市場	交通をめぐる心理学、交通関連のマーケット			
第15講	交通と環境	交通がもたらす環境問題、環境政策と交通				
指導方法	スライドを活用しながら講義を進める。講義内で小テストを実施するほか、意見発表等の機会を設け、受講者によるディスカッション等を通じて理解を深める。					
事前学習	授業前の事前学習として、関連する情報を書籍やインターネット等で調べ、課題をもって授業に臨むことが必要である。1時間30分程度の学習時間が目安である。					
事後学習	授業後の事後学習として、授業時に学習した内容に関連する事例について調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができる。1時間30分程度の学習時間が目安である。					
成績評価方法	平常点（小テスト・発表・授業内課題等）50%、本試験（筆記試験）50%					
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	必要に応じ、個別のコメント返信や講義内での紹介・コメント等によりフィードバックを行う。					
テキスト	テキストは使用しない。各講義の内容にあわせて作成・共有する。					
参考文献	講義内で紹介する。					
実務家教員による授業	○	教員経歴	総合経済団体にてまちづくりや産業政策等に関する実務を経験したのち、ドイツにて交通政策の研究に従事。現職は公共交通関係のシンクタンク研究員。			
特記事項	実務経験を活かし、理論や建前だけでなく各地の事例を含めて説明します。積極的な参加を期待します。					